

◆ ケアマネジャーのための情報誌 ◆

ケアマネ SAPPORO

2011.6.1 発行

発行

札幌市介護支援専門員連絡協議会

事務局

札幌市社会福祉協議会

自立支援部自立支援課

札幌市中央区大通西19丁目

札幌市社会福祉総合センター内

TEL 011-612-6110

FAX 011-613-5486

第70号



会員限定の学習会を開催いたします！詳細は最後のページをご覧ください

法人化まであと一歩

札幌市介護支援専門員連絡協議会
法人化検討委員長 宮川 亮一

平成23年3月15日、平成22年度札幌市介護支援専門員連絡協議会臨時総会が開催されました。先日の臨時総会の主な議題は、当協会の最大の目標である社団法人化に向け、事務局業務の自主運営可能な団体として、組織を変革していく一歩を踏み出す総会となりました。

平成20年7月に第1回法人化検討委員会が開催され、平成22年度の法人化を目指し、組織体制強化、①事務局(員)の体制、②(事務局維持のための)財源をどこで確保するか、③(活動財源の一つとして)会員の確保の3点を重点的に委員会で話し合いを行い、委員会の回数を重ねてきました。

平成21年7月、市社協との話し合いの結果、平成22年度の法人化取得を見送り、平成24年度の法人化を目指してきました。

この間、委員会では、①移転先の事務所を探し、10支部体制で可能かどうかを確認し、②新規事業案、経費節減を図り、③施設ケアマネの入会の奨励、研修内容の見直しなどを協議してきました。

先日の臨時総会では、協会自体の自主運営の一歩として、平成23年10月1日に事務所の移転

が決定しました。

これまで、支部活動、本部の事業など、特に札幌市社会福祉協議会の協力がないと成立しないものが多くありました。

事務所の移転に伴い、事務局業務は、市社会福祉協議会からの直接的な協力を得ながら行うことはできなくなります。事業企画、各支部役員間の連絡調整、会議室の確保、定例会等の資料印刷、案内の発送、会議、定例会の進行、通帳管理などの経理、入退会に関する事務手続きなど、本部移転に伴い、これらの事務局業務を、本部と各支部で分担し、責任を持って行うことが法人化の一歩です。

さらに、支部事務局業務も、一部の法人・事業所に負担がかかることもあり、混乱することもあるかと思えます。

また、支部活動では、定例会の回数減や支部総会などを実施しないことなどを考えると支部活動が停滞する場面があるかと思いますが、会員一人ひとりのご理解とご協力が必要なことは明確です。

これから、法人化までに実施することは、5月から10月までに事務所移転の準備として、

NPO法人シーズネットとの業務委託契約、備品購入、パソコンの導入、新ホームページの開設、電話、FAX、メールなどの通信設備の準備を行うこととなります。

事務所移転後の10月から平成24年3月までには、10区支部の業務改善、経費節減、財源を確保するため会費の取り扱いの変更、経理、会計基準の見直し、就業規則の整備、定款の準備、法人申請準備や社会保険労務士、税理士等との契約など委員会で取り組むことは山積みの状態です。

ケアマネがこれからも、資質向上しなければならないように、当会も社会的に認知される団体となるために、法人取得は必須です。

法人取得後は、公的な研修事業の委託や、新規事業などの事業制限がなく、自由で自律的な幅広い活動が可能となり、その利益を法人の活動経費に当てることは、何ら差し支えないのが一般社団法人としてのメリットです。社会的な認知を得ら

れる団体として、会自体の運営も安定し、活性化に向けていく作業が続くことになるでしょう。

私たち、会員が思い浮かぶ法人化したケアマネ連協とはどのようなものでしょうか？

ケアマネ業務上での専門的な情報提供、仕事をしていく上で労働条件の改善、ケアマネ間の連携、資質向上のための研究発表の場・研修会の実施、市民に介護保険制度の情報発信、ケアマネが加入していてメリットがある法人…ケアマネの夢や希望を実現できるような法人を目指し、今後も前進していきます。

平成24年の念願の法人取得まであと一歩までできています。



札幌市からのお知らせ

65歳以上の高齢者を対象とした『介護予防啓発チラシ』の全戸配付について

札幌市では、介護予防の普及啓発をさらに強化し、住み慣れた地域で自立した生活を続けられる高齢者の方々が増えるように、65歳以上の方全員に、「生活機能チェックリスト」や本市の介護予防事業を掲載した『介護予防啓発チラシ』を郵送配付いたします。

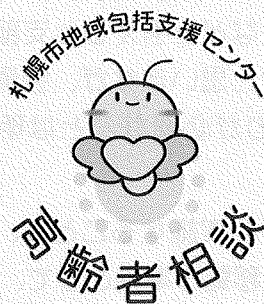
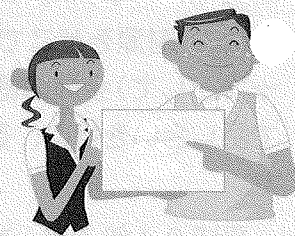
『介護予防啓発チラシ』につきましては、介護認定を受けていない方を対象としておりますが、毎年郵送している「介護保険料納入通知書」に同封することから、要介護認定の有無を問わず、全高齢者の方々に送付いたしますことをご了承ください。

運動教室や保健師等の訪問など、介護認定を受けていない利用者のご家族が、健康維持のために利用できる介護予防事業もありますので、利用者のご家族よりお問い合わせ等がありましたら、各区の保健福祉課保健支援係、地域包括支援センターをご案内いただきますようお願いいたします。

なお、『介護予防啓発チラシ』については、

介護保険課ホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/kaigo/k100citizen/k150yobo.html>) において、掲載を予定しております。

郵送時期：平成23年6月14日より順次発送



ケアマネ日誌 Vol.48

社会福祉法人北志会

居宅介護支援事業所 いらっく 東 幸智

介護支援専門員の資格を取得し早10年。資格取得後のほとんどの期間は、生活相談員兼務にて施設のケアマネとして従事しており、居宅介護支援事業所の専従ケアマネとなつてからは、まだ2年半強の月日しか経過してありません。

居宅介護支援事業所への異動を機に、札幌市介護支援専門員連絡協議会に加入し、昨年からは南区支部役員とし諸先輩方に混じり、微力ながらお手伝いをさせていただいております。今回「ケアマネ日誌」の寄稿依頼を受け、何を書こうか散々悩んだ挙句・・・。つたない文章ですが、少々お付き合いください。

突然ですが、皆さんは『笑』っていますか？ 仕事や生活上の疲れやストレス・・・様々な要因で『笑』う機会が少なくなっていますか？ 人と接する機会の多いこの仕事の中で、私は『笑』うということをとて大切にしています。

そう思ったきっかけは、以前、ふと鏡の中の自分を見た時に無表情な自分に気付き「こんな表情じゃ、誰も話しかけてくれないよな」と思ったことが始まりでした。そして意識的に

『笑』うようになってから、『笑』は人を呼び寄せ、そして、自分も相手も元気になる力を持った表現方法なのではないかなと強く感じるようになったのです。

もちろん、業務の中ではいつも『笑』っていることは出来ません。眉間にしわを寄せていることも多くあります。

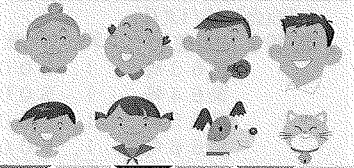
しかし、どんなに無理難題な相談や、サービス調整が困難な相談を受けたとしても、自宅を訪問し、始めにお会いする時、そして訪問を終え失礼する時、その2回は『笑』顔でご利用者様やご家族様と接するように心掛けています。

こちらが『笑』うと相手にも『笑』いが伝わり、連鎖反応が起こる。「笑う門には福来る」という諺にもあるように『笑』うことによって「福」がもたらされるならば、その「福」こそが幸福という意味を持つ「福祉」ということなのかなと自分なりに解釈しています。

反面、『笑』という字を含んだ言葉の中には、人を嘲ったり、バカにしたりという意味合いのものもあります。

『笑』い方を間違えず、これからも自分にとって大切なコミュニケーション手段として活用し、「話しやすく頼れるケアマネ」となるよう励んでいきたいと思っています。

賛否両論あるかと思いますが、是非とも皆さん一緒に『笑』いましょう～！



知っ得伝説

特定事業所加算Ⅱについて

昨年、当協議会で『事業所ガイドブック』を発行しました。この時のアンケートにおいて、札幌市内における特定事業所加算Ⅰ・Ⅱ合わせたの算定事業所が26%と全国平均に比べて高かったと記憶しています。巷では、「事業所加算を算定したら監査が入る」などと根拠のないうわさにおののくケアマネ事業所もあるようです。今日はそんなうわさにビクビクすることなく、適正に運営できる事業所加算についてつぶやきます。

特定事業所加算Ⅱ：要件

1. 主任介護支援専門員の配置
2. 常勤介護支援専門員2名以上の配置
3. 利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に関わる会議を定期的開催（おおむね1週間に1回以上）
4. 24時間連絡体制の確保
5. 減算がないこと
6. 介護支援専門員1人当たりの受け持ちが40人未満であること



ののこさん

要件の中では、3の「会議の開催」が難しいわ。毎週決まった日時点で予定しても、アポが入ったり、電話が鳴ったりとなかなかうまく出来ないのが現状…他の事業所はどうしているの？

うちの事業所はこの日は会議だからと絶対にアポは取らないようにしているんだ。



かんちゃん

わたしも同じです。1人でも約束をやぶるとうましくいなくなるからメンバーみなで協力しないとイケない。皆で「うちの事業所は特定だから！」と意識をもつことも大切だと思うよ。



ブルさん

うちの事業所は電話が鳴ると対応に追われるので、会議は他の場所に移動しておこなってるわ。



ロスさん



ののこさん

そうね。いい知恵がもらえた。早速できそう。ところで、聞きづらいんだけど…24時間体制の対応と手当てはどうしてるの？

聞くところによると、携帯電話をメンバーで持ち回りしているところが多いみたい。手当ては、あるところとないところばらばらな状態だよ。



かんちゃん

事業所の考え方もあるから一概にどれがよいとは言えないですね。まずは、利用者さんや家族から24時間体制で相談できる体制を作れているかどうか大切ということです。それにしても、ケアマネの質向上、そして収支や人員配置など事業所運営も考えて、利用者のための特定事業所が1件でも増えてほしいですね。



ブルさん

平成22年度 札幌市介護支援専門員連絡協議会 事業報告

【会務の運営】

◇総会	平成22年	5月14日(金)
◇臨時総会	平成23年	3月15日(火)
◇理事会	平成22年	4月13日(火)
		4月14日(水)
		5月14日(水)
		6月16日(水)
		8月19日(木)
		10月14日(木)
		12月16日(木)
	平成23年	2月24日(木)
◇正副会長会議	平成22年	4月6日(火)
		5月12日(水)
		6月11日(金)
		8月5日(木)
		10月4日(月)
		12月9日(木)
	平成23年	2月16日(水)

◇委員会

広報委員会 4/8(木)、6/9(水)、8/4(水)、10/6(水)、12/8(水)、2/8(火)
 研修委員会 6/4(金)、6/30(水)、7/27(火)、10/5(火)、11/5(金)、2/14(月)
 法人化検討委員会 7/12(月)、9/9(木)、11/18(木)、1/21(金)
 ・組織検討グループ会議 8/6(金)、9/30(木)
 ・財務新事業グループ会議 7/29(木)、10/7(木)
 ※7/9(金) 法人化検討委員会事前打ち合わせ
 ※7/22(木)、10/13(水)、12/8(水)、NPO法人シズネットとの打ち合わせ
 ※8/11(水) 札幌市ケアプラン指導研修(第2回)事前打ち合わせ
 ◇北海道、北海道介護支援専門員協会との懇談会
 6/25(金)、12/13(月)

【広報】 広報誌「ケアマネSAPPORO」の発行

第63号	1,500部	平成22年	4月1日発行
第64号	1,500部	平成22年	6月1日発行
第65号	1,500部	平成22年	8月1日発行
第66号	1,500部	平成22年	10月1日発行
第67号	1,500部	平成22年	12月1日発行
第68号	1,500部	平成23年	2月1日発行

【区支部事業】

総会(年1回)、役員会(必要の都度)、定例会・勉強会(年4回以上)
 市民向け事業(年1回)、区ケアプラン指導研修(年1回)

【研修】

◇全体研修会

平成22年5月14日(金) 札幌市社会福祉総合センター 参加者74名
 講演「仕事もくらしも元気であるために～ケアマネさんへのエール～」
 キタライフ 北のくらしと地域ケア研究所 代表 鈴木 真弓 氏

◇札幌市ケアプラン指導研修(第1回):札幌市委託事業

平成22年6月30日(水) 札幌コンベンションセンター 参加者949名
 行政説明「給付適正化事業の概要」
 札幌市保健福祉局保健福祉部介護保険課 給付・認定係長 千葉 香 氏
 「札幌市の認知症対策について」
 札幌市保健福祉局保健福祉部介護保険課 介護予防担当係長 阿部 位江子 氏
 講義「次期制度改正に向けて介護支援専門員に期待すること
 ～10年目を迎えた今、その役割&課題とは～」
 厚生労働省社会援護局地域福祉課 課長補佐 遠藤 征也 氏

◇札幌市ケアプラン指導研修(第2回):札幌市委託事業

平成22年8月30日(月) 札幌コンベンションセンター 参加者711名
 行政説明「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けた各種調査の実施」
 札幌市保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 計画担当係長 高田 千之 氏
 講演「漫画『ヘルプマン』はこうして出来上がった」 漫画家 くさか 里樹 氏
 シンポジウム「ケアマネジメントは身近な存在ですか?
 ～介護保険制度施行10年を振り返り、今後のあり方を考える～」
 (司会) 藤女子大学人間生活学部人間生活学科 教授 橋本 伸也 氏
 (シンポジスト) 勤医協ケアプランセンターあゆみ 管理者 尾崎 哲 氏
 地域密着型介護老人福祉施設 菊水こまちの郷 施設長 佐藤 秀幸 氏
 札幌市豊平区第2地域包括支援センター 主任ケアマネジャー 千田 晃 氏
 札幌市保健福祉局保健福祉部介護保険課 介護予防担当係長 阿部 位江子 氏
 (コメンテーター) 漫画家 くさか 里樹 氏

◇介護支援専門員受験対策講座

平成22年9月11日(土)・12日(日) 札幌市社会福祉総合センター 参加者65名
 講義①「居宅介護支援と居宅サービス」
 社会福祉法人さっぽろ慈啓会法人本部 慈啓会総合相談室室長 川島 志緒里 氏
 講義②「介護保険制度」 さっぽろ社会福祉士事務所 代表 大島 康雄 氏
 講義③「高齢者保健医療の基礎知識」
 社団法人北海道総合在宅ケア事業団 札幌豊平訪問看護ステーション
 札幌豊平ケアプラン相談センター 所長 斉藤 潤子 氏

講義④「介護保険施設と高齢者福祉の基礎知識」

社会福祉法人西平和会五天山園居宅介護支援事業所 相談課長 乙坂 友広 氏

◇施設ケアマネが元気になるための懇談会

平成22年9月21日(火)
 札幌市社会福祉総合センター(視聴覚兼会議室) 参加者38名
 講演「手をつなごう施設ケアマネ」
 特別養護老人ホーム 厚別栄和荘 施設長 瀬戸 雅嗣 氏
 グループ懇談「横のつながりを強めていくために」

◇市民のための介護保険・ケアマネフォーラム

※札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会と共催
 平成22年10月19日(火) 札幌市社会福祉総合センター 参加者86名
 講演「皆さんは『認知症』を本当にご存じですか?
 ～人ごととしてではなく、今一度一緒に考えてみませんか～」
 有限会社グッドライフ 代表 グループホームアウル 総合施設長 宮崎 直人 氏

◇介護保険施設講演会

※札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会と共催
 平成23年1月20日(木) 札幌市社会福祉総合センター 参加者91名
 講演「地域に根ざした法人になるために」
 特別養護老人ホーム 芦別慈恵園 施設長 川邊 弘美 氏

◇札幌市老人福祉施設生活相談員研究会との合同研修会

平成23年3月8日(火) 札幌市社会福祉総合センター 参加者96名
 講演「“私”を助けてくれる連携のあり方」
 北海道総合福祉研究センター 理事長 五十嵐 教行 氏

◇札幌市介護支援専門員新任研修(札幌市委託事業)

平成23年3月11日(金) 札幌市社会福祉総合センター・札幌市医師会館
 参加者 257名(居宅コース 168名、施設コース 89名)
 講義①「居宅・施設コース共通」「ケアマネの役割・期待と基本業務」
 札幌市保健福祉局保健福祉部介護保険課 介護予防担当係長 阿部 位江子 氏
 講義②「居宅・施設コース共通」「ケアマネジメント過程における留意点とその方法」
 社会福祉法人西平和会五天山園居宅介護支援事業所 相談課長 乙坂 友広 氏
 講義③「居宅コース」「給付管理の実際と認定情報の基本」
 北海道国民健康保険団体連合会
 総務部介護・障害者支援課 介護審査係 主事 児島 大輔 氏
 講義④「居宅コース」「予防給付と各種制度活用」
 札幌市中央区第2地域包括支援センター センター長 道林 松美 氏
 講義⑤「施設コース」「現状における施設の諸課題」
 地域密着型介護老人福祉施設栄町 施設長 宮川 亮一 氏
 講義⑥「施設コース」「当事者参画と他職種協同のケアプラン策定」
 特別養護老人ホーム清幌園 統括係長 柏倉 明人 氏

平成22年度 札幌市介護支援専門員連絡協議会 決算報告

【収入】

項目	予算額	決算額	増減額	備考
会費	5,000,000	4,784,000	216,000	04,000円×1,196名
参加料収入	1,900,000	2,253,000	△353,000	受験対策講座 ケアプラン指導研修 ケアプラン指導研修 新任研修
委託料	3,000,000	2,943,570	56,430	事業所ガイドブック売上金、チラシ 折込・書籍販売手数料、預金利息
雑収入	300,000	842,877	△542,877	事業所ガイドブック特別会計繰入金
ガレージ事業繰入金	884,211	884,211	0	前年度繰越金
繰越金	2,297,515	2,297,515	0	
合計	13,381,726	14,005,173	△623,447	

【支出】

項目	予算額	決算額	増減額	備考
会議費	350,000	197,390	152,610	理事会・委員会 交通費、お茶代
講師謝礼	1,530,000	667,720	862,280	講師謝礼、執筆謝礼
通信費	1,800,000	1,692,591	107,409	広報誌・研修案内・議案書発送代 封筒代、切手代
印刷製本費	1,120,000	1,166,623	△46,623	広報誌作成(年6回)、領収証代
会場費	1,150,000	1,031,434	118,566	研修会場費
支部配分金	2,500,000	2,265,000	235,000	各区支部活動費交付金
事務局運営費	3,000,000	3,000,000	0	事務局人件費
調査研究助成費	0	0	0	
旅費	120,000	0	120,000	
手数料	50,000	39,865	10,135	振込手数料
事務費	200,000	142,391	57,609	コピー用紙、ラベル、システム改良 費、領収証
法人化準備積立金	1,000,000	1,000,000	0	法人化準備金
ガレージ作成費	0	0	0	
ガレージ事業繰戻金	398,271	398,271	0	助成金返還額
予備費	163,455	0	163,455	
合計	13,381,726	11,601,285	1,780,441	

【収入】14,005,173円 - 【支出】11,601,285円 = 2,403,888円《次年度繰越金》

平成22年度 札幌市介護支援専門員連絡協議会 各区支部事業報告

区	日程 (平成22年)	テーマ	講師氏名 (シンポジスト等含)	講師所属・役職
中央区	4/19 (月)	特定事業所加算(2)の運用の実際	大滝 裕子 氏	札幌市在宅福祉サービス協会 西相談センター長
	6/21 (月)	知っておきたい!若年性認知症と支援のポイント	伊古田俊夫氏	勤医協中央病院 名誉院長
	9/16 (木)	医療機関との連携を考える ※3団体合同研修	伊内 敏晃 氏 佐藤 公一 氏 神原 巧 氏	居宅介護支援事業所ら・ばーす 所長 札幌中央病院 MSW 桑園病院 PSW
	10/22 (金)	老後の住まい～あなたはどこでくらしませんか～	岩見 太市 氏	NPO法人シーズネット 代表
	12/15 (水) (ケアラ指導研修)	処遇困難事例を通して連携を考える ～社会資源の有機的な連携とは～	石川 秀也 氏	北海道医療大学 教授
	H23. 2/22 (火)	介護報酬算定のあれこれ～相談のあった事例から～	千葉 香 氏	札幌市介護保険課 給付・認定係長
北区	4/21 (水)	実地指導の視点からみたホームヘルプサービスのケアプランへの適切な位置づけ	菅野 浩幸 氏	北海道保健福祉部施設運営指導課 主査
	7/14 (水)	アセスメントからケアプランへのサービス内容の位置づけ	星賀千鶴子氏	石狩振興局保健環境部保健福祉室保健福祉課 主査
	7/26 (月)	ほくほくフェスタ～キタから始めよう!介護予防～	共催:北区保健福祉課、北区第1・2・3地域包括支援センター、 北区介護予防センター、北区社会福祉協議会、ケアマネ連協北支支部	
	8/11 (水)	認知症～途切れないケアを目指して ～つながろう!在宅とグループホーム	藤井 範子 氏	グループホームチロリン村取締役・管理者
	9/16 (木)	地域を支える仲間としてお互いの現状を知ろう	共催:道MSW協会中央B支部ほか団体	
	10/4 (月)	ほくほくフェスタ～キタから始めよう!介護予防～	7/26同様	
	12/8 (水) (ケアラ指導研修)	実地指導から見た、介護支援専門員における法令順守～介護支援専門員同士の連携、サポートを考える～	伊藤 孝子 氏 岡島さおり氏	札幌市在宅福祉サービス協会 事業課長 北区保健福祉課保健支援係長
H23. 2/9 (水)	サービス事業所との連携:本来の利用調整連携とは? ～空き情報だけ確認していませんか?～	森 明恵 氏 関 美和 氏 西田 タ子 氏	訪問看護ステーション来夢ライン 所長 プラットホーム 理学療法士 介護老人保健施設ら・ばーす 相談課長	
東区	4/15 (水)	安心・安全!だけのプランから脱却! ～実現可能な目標って何だろう～	鈴木 真弓 氏	北のくらしと地域ケア研究所 代表
	7/21 (水)	アサーティブなコミュニケーション ～自分も相手も大切にすることを～	姉帯美和子氏	MIT工房
	9/18 (土)	高齢者の虐待を考える～自分らしく生きるとは	三瓶 徹 氏	四恩園特養部 施設長
	11/17 (水) (ケアラ指導研修)	施設ケアマネの役割と在宅ケアマネの連携	橋本 修一 氏 鈴木 英樹 氏 丹呉ますみ氏	特別養護老人ホーム神愛園手稲 施設長 北のくらしと地域ケア研究所 代表 札幌市東区介護障がい担当課保健支援係長
	H23. 2/17 (水)	インテークにおける面接技術 ～初回面接からアセスメント・「第1表」までを体験	鈴木 真弓 氏 鈴木 貴之 氏	北のくらしと地域ケア研究所 代表 モエレケアマネセンター
	H23. 3/16 (水)	通所介護計画とケアプランの連動 ～転倒リスクの把握とレクリエーションの工夫～	鈴木 英樹 氏	北のくらしと地域ケア研究所 代表
白石区	4/22 (木)	ケアマネのためのコミュニケーション技術	濱 保久 氏	北星学園大学文学部 心理・応用コミュニケーション学科 文学部長
	7/24 (土)	講演「ストップ!ザ 脳卒中」 演劇「脳梗塞になるということ」 ※白石脳神経外科病院、白石区在宅ケア連との共催	高橋 明 氏 加藤 和彦 氏 平田麻紀子氏 野中 雅 氏	白石脳神経外科病院 診療部長 砂川市立病院 作業療法士 ケアマネ連協白石区支部長 白石脳神経外科病院副院長
	9/29 (水)	医療連携～白石モデルを考えよう～	小野塚美香氏	北海道大学病院 地域連携福祉センター 看護師長
	11/25 (木) (ケアラ指導研修)	こうすればとれる、医療連携加算、退院退所加算 ～よりよい連携を目指して～	阿部位江子氏 船木 豪人氏 森枝 朋久氏 中山 昭典氏 西野 紀子氏	札幌市介護予防担当係長 ケアプランセンターはばたき 勤医協柏ヶ丘居宅介護支援事業所 勤医協札幌病院 札幌呼吸器科病院
	H23. 1/20 (木)	これでわかる 高齢者住宅	鹿野 憲 氏 立花 和浩 氏	勤医協きよた在宅総合センター センター長 NPO法人シーズネット 札幌・住まいるアップセンター
	H23. 3/10 (木)	ケアプラン点検について	鈴木 真弓 氏	北のくらしと地域ケア研究所 代表
厚別区	4/16 (金)	ビデオ学習「面接への招待」		
	6/16 (水)	医療と介護の連携はこう変わる! ～平成22年診療報酬改定の視点から～	シンポジウム ※MSW協会、厚別区包括共催	
	7/12 (月)	事例検討会 ※厚別区包括共催	長井 巻子 氏 宮本 礼子 氏	三草会 桜台江仁会病院
	9/21 (火)	厚別のリハビリテーションを考える	シンポジスト:区内訪問リハビリ事業所所長	
	9/24 (金)	実地指導の傾向と対策	佐久間 仁 氏	行政書士
	10/21 (木)	事例検討会 ※厚別区包括共催	宮本 礼子 氏	桜台江仁会病院
	11/11 (木)	認知症ケアで大切にしたい事	住友 幸子 氏	グループホームトトロの森 総合施設長
	12/16 (木) (ケアラ指導研修)	高齢者虐待における在宅ケアマネと施設ケアマネの連携	石川 秀也 氏 斎藤 師子 氏	北海道医療大学 看護学部 教授 札幌市厚別区保健福祉課 保健支援係 係長
	H23. 1/19 (水)	事例検討会 ※厚別区包括共催		
H23. 2/8 (火)	事例検討会 ※厚別区包括共催	田中干枝子氏	日本福祉大学 教授	
H23. 3/17 (木)	施設ケアマネに期待される役割と連携	瀬戸 雅嗣 氏	特別養護老人ホーム厚別栄和荘 総合施設長	
南区	4/20 (火)	22年度診療報酬改定について	岡村 紀宏 氏	西岡病院 MSW
	6/15 (水)	対人援助技術について	金田一仁志氏	パクスエンターエイメント㈱ 代表
	8/24 (火)	安心・安全のプランからの脱却 ～利用者が嬉しいケアをつくるために～	鈴木 真弓 氏	北の暮らし地域ケア研究所 代表
	10/25 (月)	知っておきたい年金制度	加福 保子 氏	障害年金サポート社労士の会 代表
	11/19 (金)	認知症の正しい理解と対応について 発表1.認知症サポーター養成講座 発表2.主人と二人で歩んできた道	宮澤 仁朗 氏	ときわ病院 院長 札幌認知症の人と家族の会(堅田 時子 氏)
	12/14 (火) (ケアラ指導研修)	その人らしさが見えるケアプランの作成～事例からの気づき～	鈴木 真弓 氏	北の暮らし地域ケア研究所 代表
H23. 3/1 (火)	精神疾患を持つ本人・家族との対応について	鍋島あゆみ氏	札幌こころのセンター 精神科医	

区	日程 (平成22年)	テーマ	講師氏名 (シンポジスト等含)	講師所属・役職
豊平区	4/14 (水)	平成22年度診療報酬改定について	岡村 紀宏 氏	特別医療法人恵和会 西岡病院 MSW
	6/9 (水)	高齢者の認知症と精神疾患について ※豊平区第1・第2包括支援センターと合同開催	宮澤 仁朗 氏	医療法人ときわ病院 院長
	8/11 (水)	医療・介護連携の地域課題 ※北海道MSW協会中央A支部 合同研修会	シンポジウム	
	9/15 (水)	施設ケアマナ座談会	福島 義典 氏 馬場 伸哉 氏 千田 晃禎 氏	特別養護老人ホーム みどりの丘 施設長 豊平区社会福祉協議会 事務局長 豊平第2地域包括支援センター 主任CM
	9/28 (水)	「実態調査から見えて来た事」 「直ぐ役立つ実践的な対応方法」	池田 望 氏 岡田 京子 氏 三浦 直哉 氏	札幌医科大学保健医療部臨床作業療法講座 教授 デイサービス大通り公園どんぐりの家 三浦内科循環器科クリニック
	10/13 (水)	ケアマナが元気になるために	鈴木 真弓 氏	北の暮らし地域ケア研究所 代表
	11/10 (水) (777ラジ指導研修)	サービス事業所との連携について	荒井 厚子 氏 柳 厚子 氏 小林 恵子 氏 佐川たか子氏 宮川 朋子 氏 大高 範子 氏	札幌市豊平区保健支援係長 ヘルパーステーションうれしば 訪問看護ステーションふくずみ みどりの丘デイサービスセンター 介護老人保健施設サンビュー中の島 風の街社会福祉事務所
	12/8 (水)	虐待にどう対応したらよいか～事例から学ぶ～	石崎 剛 氏 斎藤 久子 氏 藤井 充 氏	厚別区第2地域包括支援センター センター長 豊平区第1地域包括支援センター 社会福祉士 高台病院 院長
	H23.2/9 (水)	介護支援専門員とソーシャルワーカーの良質な連携に向けて ※北海道MSW協会中央A支部 合同研修会	グループワーク	
	清田区	4/20 (火)	診療報酬改定と医療連携	森永万佐夫氏
6/16 (水)		病気や痛みと付き合いながらも明るい気持ちを持った生活を送るために ※事例検討会	竹津麻知子氏	グループホームトトコの森 介護福祉士
7/21 (水)		リハビリ途中で退院し、自宅で転倒している妻のところにガン末期の夫が強制退院してきた。さあ困ったどうしよう。 ※事例検討会	成田 奈美 氏	居宅介護支援事業所「真栄」
9/15 (水)		ちょっと見せて！あなたのオリジナル情報シート ～連携をとるためにどんな書式を使っていますか？～	グループ協議	
10/20 (水)		転倒歴の多い認知症高齢者の在宅復帰を目指して	高橋 健吾 氏	老人保健施設げんきのでる里
10/30 (土)		知っておこう身近な認知症	内海久美子氏	砂川市立病院精神神経科部長
11/17 (水) (777ラジ指導研修)		もっとお互いを知り合おう！MSWさん達と	山口 修史 氏 佐藤 友香 氏 松尾真由美氏 高木 千佳 氏 宮村 香 氏	真栄病院地域支援部長 札幌清田整形外科病院医療相談課 札幌整形循環器病院内医療連携課 札幌南青洲病院医療相談課 札幌市清田区介護障がい担当課保健支援係長
H23.2/16 (水)		糖尿病でも一緒に暮らしたい～小規模多機能で糖尿病のある利用者様を支援するには～ ※事例検討会	佐々木勇太史 小林 清佳 氏	小規模多機能型居宅介護「ごきげん」真栄 管理者 小規模多機能型居宅介護「ごきげん」真栄 介護職員
H23.3/16 (水)		明日からがんばれる！日頃の仕事に夢とやりがいを持ち続ける為に	植松 努 氏	(株)植松電機 専務取締役
西区		4/20 (火)	実地指導の内容について	菊地 氏 柴田 氏
	5/18 (火)	「つなぐかかわり～地域連携を考えるパート3」 ～ずっと家で、地域で。イネさんの思い～ 公開シンポジウム	共催：第138回西区在宅ケア連絡会、第87回手稲区在宅ケア連絡会、札幌市医師会西区・手稲区支部、札幌市介護支援専門員連絡協議会西区・手稲区支部 発表者：坂本 仁 医師、宮本 医師	
	6/15 (火)	「平成22年度診療報酬改定に伴う影響と24年度介護保険制度見直しの動向」 「平成22年度診療報酬改定」	熊谷 氏 伊藤 氏	北海道医療新聞社
	8/24 (火)	施設系事業所との連携について	安藤 氏 高木 氏	はっさお はる 生活相談員係長 エル・ウォール平和 相談員主任
	10/19 (火)	平成22年度実地指導を受けてみて	乙坂 氏 小野寺 氏	五天山園居宅介護支援事業所 管理者 同 通所介護事業所 主任相談員
	12/7 (火) (777ラジ指導研修)	処遇困難事例を通して連携を考える	太田 氏 山本 氏 伊勢 氏 伊藤 氏	札幌太田病院 院長 ヘルパーサービスほくおつ 札幌こころのセンター 札幌新生山の手断酒会
	H23.2/15 (火)	消費者被害について～消費者被害未然防止・気づきのポイントと対処法～	池田 氏 吉田 氏 星原氏、小笠原氏	札幌方面西警察署生活安全課 札幌市市民生活部消費者センター 社団) 札幌消費者協会
手稲区	4/15 (木)	ここが大事！加算算定に必要なポイント(居宅介護支援事業所編)	川代 和子 氏	札幌市在宅福祉サービス協会手稲相談センター手稲事業部長
	5/18 (火)	西区合同開催(上記)		
	7/16 (金)	ケアマナの職業倫理とは？	尾崎 清一 氏	北海道勤労者在宅医療福祉協会 総務部長 企画部長
	10/2(土)	サクサク書ける情報提供書 ～ここさえ押さえておけば医療連携間違いなし！～	札幌市介護支援専門員協議会手稲区支部、北海道医療ソーシャルワーカー協会中央E支部、手稲区第1・2地域包括支援センター 合同研修	
	12/7 (火) (777ラジ指導研修)	知っているようで知らない、各分野のケアマナの仕事 ～現状と課題、ケアマナ間の連携～	鈴木 真弓 氏 小笠原京子氏 佐々木 香 氏 岩井二生子氏 目黒 祥子 氏 片山 后代 氏	北の暮らしと地域ケア研究所 代表 手稲区保健福祉課保健支援係長 札幌市在宅福祉サービス協会手稲相談センター 特別養護老人ホーム札幌稲寿園 グループホームアイケア手稲 勤医協小規模多機能型居宅介護 結
	H23.1/18(火)	個人と職場のメンタルヘルス ～”色いろ”なモチベーションUP術～	鈴木 真弓 氏	北の暮らしと地域ケア研究所 代表
	H23.3/15(火)	ケアプランで手稲をチェンジ！”改善”への取り組み	山口 優美 氏	手稲区第2地域包括支援センター 保健師

平成23年度 札幌市介護支援専門員連絡協議会 事業計画

基本方針

市民の市民による市民のための介護文化の創造を目指し、次の5項目を活動指針とする。

1 市民に見える事業展開を図る

介護支援専門員は、どのような役割を持ち、どのようなことをするのか、市民の理解がまだまだ足りない状況下にある。

利用者による選択と決定を前提とした介護保険には、成熟した市民社会の構築とそれを支える介護支援専門員の具体的な事業展開が求められる。

そのため、公益的事業を増やし、市民への働きかけを促進する。

2 専門性の追求を図る

介護支援専門員の存在価値はその専門性にある。そのため、基礎から専門まで一貫した研修体制を確立することを目指す。また、介護支援専門員自らがケアマネジメントなどに関する調査研究を行うことで専門性を追求し、札幌市という風土に合ったケアマネジメントの確立を図る。

3 介護支援専門員間の共通基盤を探り、これを構築する

多職種を受験資格とした介護支援専門員の土俵は「地域」といえる。地域を意識した区支部単位の積極的な活動が求められる。そのため、区支部活動の一層の活発化を図る。

4 組織体制の整備を図る

会員数も1千名を超え、市からの委託事業も展開する事業体となり、19年度の組織強化検討委員会の答申を受け、今年度は会則や組織体制を全面的に見直し、公益事業を担う責任ある団体として独立し法人化を目指す。

なお、これまで全面的に札幌市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会へ委任していた事務局用務を、自主運営可能な独立した職能団体・組織へと変革するために、事務局を移転し法人化の準備を進める。

5 東日本大震災の被災地への支援を行う

東日本大震災の被災地に対して、日本介護支援専門員協会及び北海道介護支援専門員協会と連携を図りながら継続的に支援活動を行う。

8 介護支援専門員指導者研修の開催（札幌市委託事業）新規

包括支援センター及び区保健支援係を対象として、地域のケアマネジャーをスーパーバイズできるような知識・技術習得を目的に開催する。

平成23年12月 札幌市社会福祉総合センター 予定

9 結論の出ない学習会の開催 新規

在宅・施設ケアマネが、各テーマにより自由に意見交換することを目的に開催する。

平成23年度 7月・11月・2月 予定）札幌市社会福祉総合センター

10 関係団体との連携・共催 新規

- (1) 札幌市老人福祉施設協議会
- (2) 札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会
- (3) 北海道在宅医療推進フォーラム実行委員会

11 施設ケアマネ向け事業の実施

施設ケアマネに向けての情報交換会・研修等を実施する。

12 懇談会の開催

北海道、医師会、北海道ケアマネ協会、MSW協会等との懇談会を開催し、情報の共有化を図る。

13 アンケートの実施

14 理事会の開催（年4回程度）

15 正副会長会議の開催（必要の都度）

16 各種委員会の開催（必要の都度）

17 外部委員会、講演会等への会員の派遣

18 会員名簿の作成、区支部での活用

19 会員募集の拡大及び会費の徴収

20 会員の研究・調査等に対する支援（協力 新規）

平成23年度 札幌市介護支援専門員連絡協議会 予算

【収入】

項目	H23予算額	H22予算額	増減額	備考
会費	5,000,000	5,000,000	0	④4,000円×1,250名
参加料収入	2,000,000	1,900,000	100,000	受験対策講座 ケアプラン指導研修
委託料	3,700,000	3,000,000	700,000	ケアプラン指導研修 新任研修、指導者研修
雑収入	300,000	300,000	0	チラシ折込・書籍販売手数料 預金利息
ギフト事業繰入金	0	884,211	▲884,211	事業所ガイドブック特別会計繰入金
区支部繰入金	700,000	0	700,000	各区支部の繰越金
繰越金	2,403,888	2,297,515	106,373	前年度繰越金
合計	14,103,888	13,381,726	722,162	

【支出】

項目	H23予算額	H22予算額	増減額	備考
会議費	350,000	350,000	0	理事会・委員会 交通費、お茶代
講師謝礼	1,000,000	1,530,000	▲530,000	講師謝礼、執筆謝礼
通信費	2,200,000	1,800,000	400,000	広報誌・研修案内・議案書発送代 封筒代、切手代、事務局移転後の電話・FAX・インターネット使用料
印刷製本費	600,000	1,120,000	▲520,000	広報誌作成（年6回）、領収証代
会場費	1,150,000	1,150,000	0	研修会会場費
支部配分金	1,800,000	2,500,000	▲700,000	各区支部活動費交付金
事務局運営費	3,000,000	3,000,000	0	事務局人件費
調査研究助成費	0	0	0	
旅費	120,000	120,000	0	理事研修会参加費
手数料	50,000	50,000	0	振込手数料
事務費	700,000	200,000	500,000	コピー用紙、ラベル、システム改良費、領収証、事務局移転後の事務室使用料
初度調弁費	1,500,000	0	1,500,000	事務局移転に伴う備品等の経費
法人化準備積立金	1,000,000	1,000,000	0	法人化準備金
加付ギフト事業返戻金	0	398,271	▲398,271	助成金返還額
災害支援費	100,000	0	100,000	災害支援に対する補助金等
予備費	533,888	163,455	370,433	
合計	14,103,888	13,381,726	722,162	

事業計画

1 ケアマネ SAPOROの発行（年6回）

2 区支部事業の推進

(1) 定例会（情報交換又は学習会）の開催（年4回以上）

※ 上記のうち、年回は札幌市ケアプラン指導研修（各区）を開催

(2) 役員会の開催（必要の都度）

3 通常総会（全体研修会）の開催

平成23年5月12日（木）札幌市社会福祉総合センター 4階 大研修室

4 ケアプラン指導研修の開催（札幌市委託事業）

介護支援専門員のケアマネジメント技術の向上を図り、ケアプラン及び介護保険サービスの質を確保することを目的に開催する。

(1) 全体研修の開催（年2回）

・回目：平成23年6月13日（月）札幌コンベンションセンター
株式会社 千早ティーマスリー コンサルティング部長 松本 博規 氏

・2回目：平成23年8月30日（火）札幌コンベンションセンター
緩和ケアクリニック 患庭 院長 柴田 岳三 氏

(2) 各区ケアプラン指導研修（年回）11月～12月

5 介護支援専門員受験対策講座の開催

介護支援専門員資格取得を支援するために開催する。

平成23年9月10日（土）・11日（日）

札幌市社会福祉総合センター 4階 大研修室

6 市民のための介護保険（ケアマネフォーラム）の開催

市民の方々に介護支援専門員の役割を理解してもらうことを目的に開催する。

22年度同様に札幌市介護保険サービス事業所連協との共催予定）

平成23年10月15日（土）10:00～12:00 予定）

アクセスサッポロ いきいき福祉健康フェア2011

7 介護支援専門員新任研修の開催（札幌市委託事業）

新任者を対象として、ケアマネとしての基本姿勢や基本的実務の習得を目的に開催する。

平成24年3月7日（水）札幌市社会福祉総合センター 札幌市医師会館 予定）

去る5月12日（木）に開催されました通常総会にて、議案が承認されましたことをお知らせいたします。

総会の開催要件につきましては、総会開催定足数が399名以上（総会員数1,196名の3分の1【会則第26条】）であり、委任状・書面表決書・当日出席者の総数が536名となり有効に総会は成立いたしました。

また、議案事項である、事業報告、決算報告、監査報告、事業計画案、予算案、規則の一部改正につきましても、書面表決承認136名、不承認0名、委任状352名、及び出席者賛成多数により承認されました。

掲示板コーナー

非会員の方は、参加費1回1,000円とさせていただきます。ご了承ください。
会員は従来どおり無料です。
「未定」の箇所に関しましては、適宜ホームページ等にてご案内いたします。

● 中央区支部定例会

日時	8月に開催予定
会場	未定
テーマ・内容	未定
講師	未定
お問合せ	中央区社会福祉協議会 ☎ 281-6113

● 北区支部定例会

日時	6/14(火) 18:30~20:00
会場	北区民センター 3F 講義室
テーマ	ケアマネのメンタルケア ～ストレスや疲れを癒して毎日元気に～
内容	ケアマネ自身のメンタルケア
講師	札幌心の相談センター 安住 昌泰 氏
お問合せ	北区社会福祉協議会 ☎ 757-2482

● 東区支部定例会

日時	7/20(水) 18:30~20:30 《他区支部参加可》
会場	東区民センター
テーマ	医療との連携の話し
講師	未定
お問合せ	東区社会福祉協議会 ☎ 741-6440

● 白石区支部定例会

日時	8/30(火) 《他区支部参加可》
会場	白石区民センター
テーマ	効果的な会議の進め方
内容	講義
講師	(株)アムリプラザ 取締役 岡山 洋一 氏
お問合せ	白石区社会福祉協議会 ☎ 861-3700

● 厚別区支部定例会

日時	7月に開催予定
会場	厚別区民センター
テーマ・内容	未定
講師	未定
お問合せ	厚別区社会福祉協議会 ☎ 895-2483

● 清田区支部定例会

日時	6/22(水) 18:30~20:00 《他区支部参加可》
会場	清田区役所 大会議室
テーマ	利用者さんとフェアな関係を築くために
内容	研修会
講師	コーチングネットワーク童夢 代表 宮崎 順一 氏
お問合せ	清田区社会福祉協議会 ☎ 889-2491

● 豊平区支部定例会

日時	①6/7(水) 18:30~ 《他区支部参加可》 ②8/3(水) 18:30~ 《他区支部参加可ケアマネ限定》
会場	①豊平区民センター大ホール ②未定
テーマ	①老年期における統合失調症と双極性障害 ②仮) 介護報酬算定あれこれ
内容	①老年期における認知症以外の精神疾患について学ぶ ②日頃のケアマネ業務の中で気をつけなければならない点について学ぶ
講師	①ときわ病院 院長 宮澤 仁朗 氏 ②札幌市介護保険課
お問合せ	本会事務局 ☎ 612-6110

● 南区支部定例会

日時	7/26(火) 《他区支部参加可》
会場	南区民センター 視聴覚室 A・B
テーマ	ケアマネにとって必要な医療知識
内容	研修会
講師	札幌市在宅福祉サービス協会 訪問介護担当課長 鈴木 紀子 氏
お問合せ	南区社会福祉協議会 ☎ 582-2415

● 西区支部定例会

日時	8/11(木) 18:30~20:00
会場	西区民センター 第1・2会議室
テーマ・講師	未定
お問合せ	西区社会福祉協議会 ☎ 641-2400

● 手稲区支部定例会

日時	7/20(水) 《他区支部参加可》
会場	手稲区民センター 第1・2会議室
テーマ	リウマチの基礎を学ぼう
内容	研修会
講師	手稲内科リウマチクリニック 院長 津田 隆俊 氏
お問合せ	手稲区社会福祉協議会 ☎ 681-2400

結論の出ない学習会 開催案内

会員限定

身近な話題について、自由な発想で意見交換を行い、自分以外の考え方も認識しよう！

今回は「アルコール」について検討します。

日時：7月26日(火) 18:30~20:00頃
会場：札幌市社会福祉総合センター4F視聴覚室
(中央区大通西19丁目)

司会進行：ケアマネ連協研修委員長 乙坂 友広 氏

☆申込み方法について ※締切7/20まで

申込用紙はありませんので、下記の必要事項をご記入のうえ事務局までFAX(613-5486)をお願いいたします。



必要事項：

FAXタイトル[7月学習会参加申し込み]
お名前、会員No、所属先(事業所等)
連絡先TEL・FAX

最新情報は、ホームページ <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/nursing> でご覧ください。